

AOYAMA OIKOS NOMOS



青山学院大学経済学部同窓会会報

2000. 11.16 第2号

経済学部同窓会講演会 ～ユーロ圏の通貨・金融政策の展開～

講師：経済学部 中川辰洋 教授



中川辰洋教授 略 歴

1952年 札幌に生まれる
1989年 東京大学大学院経済学部研究科博士課程修了 経済学博士(東京大学)
社団法人公社債引受協会調査課長
1993年 青山学院大学助教授
1994年 青山学院大学助教授
1997年より 青山学院大学教授
1999年 フランスのソシエテ・ジェネラル銀行
～2000年 経済調査チーム
主要研究書
「ゼミナール EC通貨・金融統合と資本市場」東洋経済新報社 1993年/「経済政策の転換」(OECD編 中川辰洋監訳)日本経済評論社 1995年/「1999年ユーロ誕生」東洋経済新報社 1998年

経済学部同窓会は、卒業生と現役学生との交流プログラムの一環として、2000年11月10日午後6時30分より、渋谷キャンパス9号館931教室にて、講演会を開催した。

中川氏は、昨年、本学経済学部同窓会発足の準備委員会で「ユーロ圏の動向」について講演した。その後、フランスのソシエテ・ジェネラル銀行で、経済調査チームとして在外研究を行い、先ほど帰国した。榎本会長の挨拶に引き続き、この一年、ヨーロッパで見聞されたことや、研究成果の報告が行

われた。

中川氏によると、ユーロ圏の経済・金融動向と評価は、単に為替レートの動きだけでは判断できない。ヨーロッパ中央銀行をはじめとする各金融機関といった制度的側面や、物価安定維持といった金融政策目標と戦略、また石油高騰といった各種の主要経済指標、政治的要因、そして現地の人々の感覚までを考えて評価しなければならない。このような点について、時にユーモアを交え、また時には、冷静かつ批判的に講演された。最後に中川氏は、ジャーナリスティックな「ユーロ安」でユーロ圏の問題を考えてもらいたくないと結論づけた。

質疑応答では、各分野で活躍されている出席者の立場から質問が出て、活発な議論が行われた。また、現役学生の紹介もおこなわれ、卒業生と現役学生との交流という目的も達成され、有意義な時間を過ごすことができた。

経済学部同窓会主催の講演会は、年2回程度予定されており、これからもますますその役割が期待される。



経済学部同窓会講演会 ～講師 中川辰洋教授～ 1999.11.10 青山キャンパス931教室

第2回同窓会総会(初年度年次総会)開催す

2000.6.24

経済学部同窓会第2回総会(初年度年次総会)は去る2000年6月24日(土)午後2時より、大学420番教室において、会員105名の出席のもと開催された。

榎本弘会長が挨拶の後、東方敬信幹事の司式による礼拝をもって開会した。引き続き、会則の規定に基づき会長が議長となり議案の審議に入った。いずれも原案の通り承認された。

ついで、本郷 茂常任幹事から「経済学部近況・経済学部同窓生の社会での活動状況」の説明が会った。

第二部講演会は講師に松澤 建氏(S35商卒、日本火災海上保険(株)社長、青山会ネットワーク会長)を迎え「マレーのハリマオから日本火災の社長へ!」と題し、生・損保を含めた最近の金融情勢、企業経営、ご自身の生き様を情熱溢れる語り口でご講演いただいた。総会出席者は熱き心のまま、午後5時半より開催の懇親会場(青学会館)へ向かった。



総会議決内容は以下の通り

1号議案「平成11年度(1999.9.23~2000.3.31:以下同じ)事業報告承認の件(室伏孝一幹事長報告)」

2号議案「平成11年度収支決算報告承認の件(天野知恒会計委員報告)」

3号議案「平成11年度監査報告(寺田孝行監査委員報告)」

4号議案「会則一部改定について(川野繁副会長提案)」

第四章 組織と学年幹事

第10条 学年毎に学年幹事と副幹事若干名を選出する。幹事と副幹事は学年全体と……………

第五章 常任幹事会

第12条 幹事会は役員会の委嘱事項を行うため常任幹事会を置く。

(1) 常任幹事は30名以内とし、1952年卒業生より3年毎に幹事または副幹事の中より……………

●改訂→上記の本分下線の箇所「副幹事」を削除し、幹事のみとする。

第七章 会 計

第20条 本会は①年会費3,000円……………

●改訂→本会は①年会費3,000円(但し、新卒者は1年間に限り1,000円)と、下線の箇所を本文に追加する。(付則)2000(平成12)年6月24日一部改訂。

説 明

* 学年幹事と副幹事とを選任していましたが、幹事のみで支障が無いものと考えて「副幹事」の字句を削除しました。

* 新卒者の入会を歓迎する上で、卒業初年は、年会費を1,000円とし2年目からは、3,000円とする。

5号議案「平成12年度(2000.4.1~2001.3.31:以下同じ)事業計画承認の件(石井信之副会長提案)」

6号議案「平成12年度収支予算承認の件(天野知恒会計委員提案)」

礼拝風景



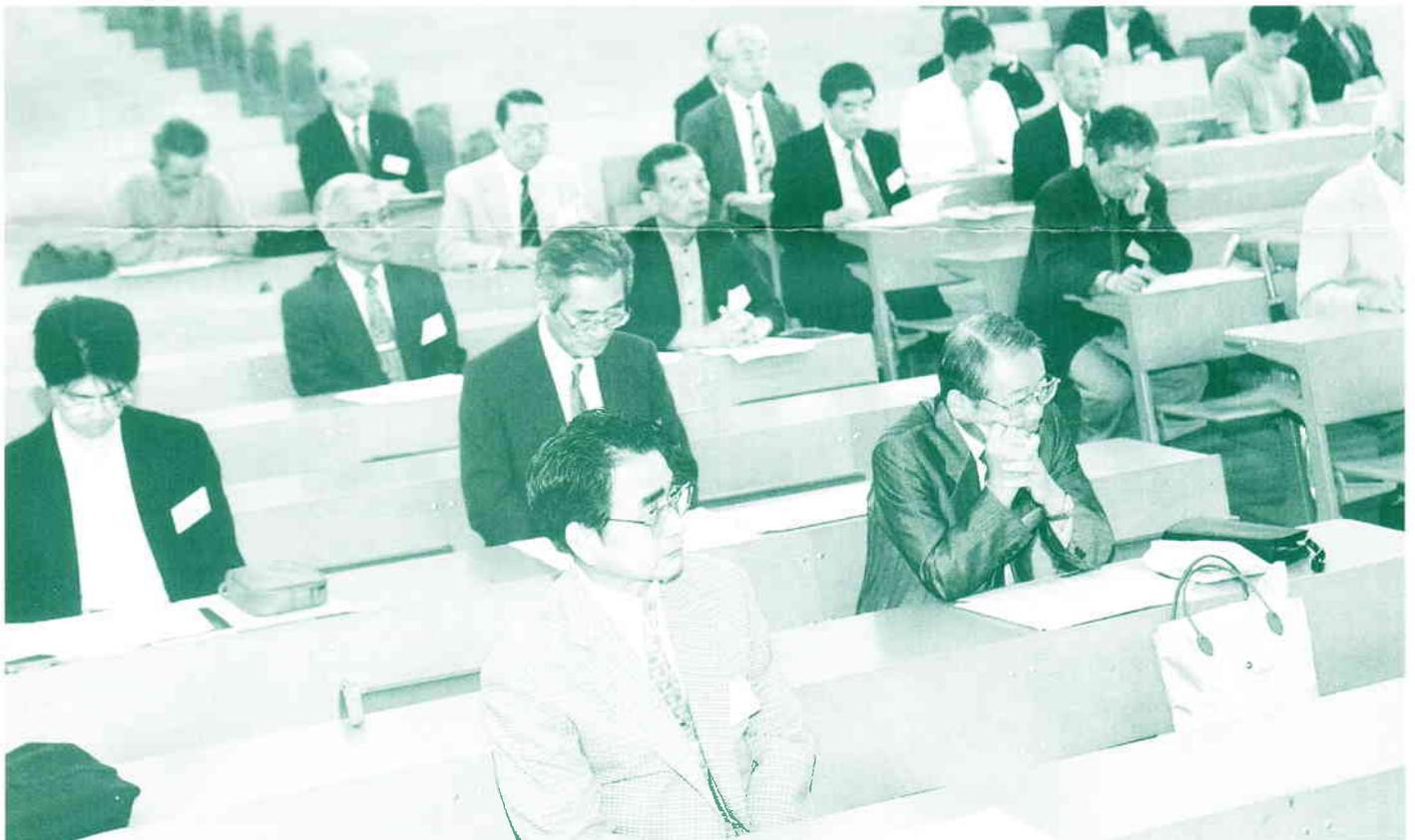
榎本 弘 会長就任挨拶要旨



経済学部同窓会は昨年9月23日に設立総会を開催して発足しました。会則6条に総会は6月までに開催するとの規定に基づき本日行った次第です。本日まで9か月経過したが、この間、非常に多くの会員のご努力がありまして、色々な形で進める事が出来ましたことを感謝します。ただ、表面的にはまだ動きが出ないような感じがあり、もどかしく思われた方もあると思いますが、設立から始めると言う事はなかなか大変でした。基礎づくり、組織づくりに努力し、今では幹事会、常任幹事会、役員会が持てるまでになりました。皆様が同窓会に愛着をもって努力していただいた結果、ここまで組織が出来上がったわけで非常に感謝しています。そして第一回会報を作成し配布することができました。これからはいよいよ離陸の段階です。どうぞこれからも一層のご協力、ご後援をお願いします。経済学部同窓会の意義は、会員の親睦と研鑽を計るとともに、経済学部発展に寄与することです。私たちに何が出来るか、卒業生が社会へ出て活躍することが即学校の評価となる。すなわち私たちの生き様が問われると考えている。世話になった母校に何が返礼できるかという事が問われる。このことを機軸として経済学部同窓会を今後も進めて行きたい。



総会風景



松澤 建氏 講演要旨

(マレーのハリマオから日本火災の社長に!)



マスコミ報道で御承知の通り、最近の金融業界は困難な時代を迎えている。1997年4月日産生命が破綻。以降も金融機関の破綻が続く。銀行…北拓、長銀、日債銀。証券…三洋、山一。生保…東邦、第百。損保…第一。この原因として考えられる事は、不況、規制緩和、自由化、官を含めた業界の持たれ合い、責任問題の先送り、未曾有の混乱、景気低迷などが挙げられる。

わが国の第一次変革は、1866年の明治維新で、徳川幕府が崩壊し、近代天皇制と資本主義の起点となった社会変革。

第二次変革は、1945年(昭和20年)の敗戦(太平洋戦争の終結)。

第三次変革は、現在の金融大変革である。

損保業界は三年前のビッグバン(規制緩和+自由化)によって、生保が損保を子会社化して以降、業界再編に動き出した。1999年10月19日、日本火災と興亜、三井(その後、脱落下住友と)の合併の話が浮上した。その結果、日本火災と興亜は来年4月に、住友と三井は来年10月に合併する。損保は本来一年契約が主流のため不良債権を持たない業種であるが、金融業界の最後としてビッグバンの影響を受け始めてきた。わが国の個人金融資産1300兆円を、外国企業が日本に進出し狙っているのが、損保会社も単独では生きて行けない時代を迎えている。

世界最初の金融ビッグバンは、英国のサッチャー首相が証券売買手数料を自由化したことから始まった。わが国では、1996年、橋本首相による金融ビッグバンが最初である。10年前、アメリカ、イギリスで始まったドラマは、日本では今、始まったばかりで、一幕8年のドラマとなるであろう。早くて、5、6年、永くて10年と思われる。

この55年間、見方によれば50年間の保護行政も、良かった点は多々ある。わが国がここまで発展したことは、適切な行政のご指導もあれば、この業界のまたは皆様方の変な

ご努力があった。

我々は、欧米に伍していくために、活力に満ち、知恵と汗を絞って、困難なハードルを乗り越えていかねばならない。

正々堂々のキーワードは、自己責任、自己研鑽、質の向上である。日本火災株式の外国人持株比率は12%から20%超になった。これは外国人投資家が日火の将来性を買っているためである。

最近、社員の会社に対する考え方に変化が見られる。即ち、転職者が増えていることである。転勤のない職種を希望していることも関係している。

会社は、今迄は社員、代理店、契約者を大切にしてきたが、株主を最も重視しなければならない。社会全体が世界に目を向け、グローバル化の流れの中でも、私は日本独自の良い面を見直す必要があると思っている。一例として、日本の終身雇用制度は残すべきであると思う。

私は、昭和47年から5年間マレー半島に勤務していた。当時、クアラルンプールは臭い、汚い、暑い町であった。マレーシア、インドネシアは回教(アラーの神)の国であるが、人種、宗教が異なり、難しい所である。私は三年かけて合弁会社を設立した苦労は忘れられない。

最後に、私の経験を申し上げると、人間は、健康であること、嘘を付かない事、約束を守ること。そして、明るく、正しく、強く生きていくことが大切であることを申し上げて、本講演の終りとしたい。

同窓会第2回総会（初年度年次総会）懇親会

松澤 建氏の講演の熱気をそのまま持ち込み、午後5時半より、会場を青学会館「ナルド」に移し、白井 茂常任幹事の進行で懇親会が持たれた。

ご来賓として、熊谷彰矩経済学部部長、平光淳之助校友会会長、安藤孝四郎校友会大学部会長の各氏のご多忙の中、ご出席いただいた。

榎本会長、ご来賓の熊谷経済学部部長と平光校友会会長の挨拶について、寺田孝行監査委員の食前の祈祷をもって開会。安藤大学部会長のご発声で会員一同高らかに杯を掲げた。

学生のジャズバンド、ロイヤル・サウンズ・ジャズ・オーケストラのスタンダード・ジャズの演奏と、59年法学部卒の音枝輝鼓氏（本名 三枝裕政）の日本舞踊地唄舞が宴に華を添えた。



熊谷彰矩経済学部部長



平光淳之助校友会会長



安藤孝四郎校友会大学部会長



寺田孝行監査委員

音枝輝鼓氏



INFORMATION

- ◆2000.6.24 第2回総会(初年度年次総会)
青山キャンパス、大学420教室
総会／講演会 105名
懇親会(青学会館、ナルド)75名
講演会講師:松澤 建氏(経35卒)日本火災保険(株)社長
総会出席者に設立総会当日に開催された経済学部50周年記念シンポジウムをまとめた「経済学への期待～経済学部から未来への発信～」を贈呈した。懇親会アトラクション:ロイヤル・サウンズ・ジャズ・オーケストラ(在校生)演奏。地唄舞・音枝輝鼓(法59)。
- ◆2000.7.13 平成12年度第1回拡大大役員会
- ◆2000.8.30 平成12年度第1回常任幹事会
- ◆2000.9.23 第7回大学同窓祭
- ◆2000.10.11 青学OB・OGフォーラム2000ほか
第2回常任幹事会
- ◆2000.11.10 経済学部同窓会講演会
青山キャンパス、大学931教室
講師:中川辰洋教授。52名。
- ◆2000.11.16 Aoyama Oikos Nomos第2号発行
- ◆2000.12.8 経済学部同窓会講演会
青山キャンパス、大学931教室
講師:熊谷彰矩教授
- ◆2001.2.5 第3回常任幹事会
- ◆2001.3.14 平成12年度幹事会
- ◆2001.6.16 第3回総会(第2年度年次総会)
青山キャンパス 総会／講演会(大学420教室)懇親会(青学会館)

AONサロン

「経済学史学会のこと」

石井信之

小生が所属している経済学史学会(英文名称:The Society for the History of Economic Thought, Japan.ホームページの略称、JSJET)には840～850名の会員が加入しており、本年度は創立50周年をむかえました。その記念の全国大会は11月11日、12日の両日、国立市にある一橋大学で開かれ、盛大な懇親会の席上で、創立メンバーの一人である小林 昇氏(立教大名誉教授)などが思い出話をされ、和気藹藹の雰囲気の中に学会のこれからの繁栄を祈念しつつ乾杯致しました。わが学会は80歳を超える老会員から20歳台の大学院博士後期課程の学生会員までを抱えておりますが、アダム・スミスにはじまる古典派経済学の頃からケインズ以降の現代経済学に至る期間の、様々の経済学派・経済学説・経済思想・社会思想をめぐる研究テーマをめぐって活発な学問的交流がなされております。年一回刊行されている「年報」も来年から年二回となり、更に、論文、研究展望、書評などについて発表の機会が増えることとなります。部会としては、北海道部会、東北部会、関東部会、関西部会、西南部会の5つがあり、それぞれの地域の会員の研究報告が年数回開かれる部会で披露されております。又、学会員の会員移動、部会報告要員、国際学会開催予定の告知、物故会員追悼文などが年二回発行される「学会ニュース」で会員に知らされます。小生も、数年前に関東部会幹事をつとめ、その後、根岸隆国際政治経済学部教授が代表幹事になられた際には事務局責任者の仕事をしました。

編集後記

* 学部設立50周年を記念して開かれた(同窓会設立総会と同日)記念シンポジウムで、熊谷彰矩経済学部部長が、「我が経済学部が、21世紀へ向けて力強いメッセージを発信し続けたい」と、いわれた経済学への期待が高まる21世も目前

* 中川教授講演会、会員消息と、INFORMATIONを花岡雅夫兄が、新設のAONサロンを石井信之教授が、それぞれ担当した

* 第2号編集長、門川光雄(経35)。編集員、西尾隆司(商37)、清水美子(経39)、石井信之(経41)、相川和宏(商44)、松原優了(経46)、本郷茂(経47)、梅田澄子(経48)、磯部守孝(経53)、相原一浩(経58)、花岡雅夫(経H7)。

青山学院大学経済学部同窓会会報 第2号

2000年 11月16日発行

発行者 榎本 弘

発行所 青山学院大学経済学部同窓会
(青山学院大学経済学部 石井信之研究室内)
〒150-8366東京都渋谷区渋谷4-4-25
Tel.03-3409-8111 (内線12817)